

2025 年 9 月 15 日

公益社団法人日本語教育学会

2025 年度日本語教育学会春季大会
大会若手優秀発表賞 選考結果報告

1. 選考対象者数※1

7 名

2. 授賞者

(1) 口頭発表

7. 受 賞 者：三浦景星氏（立命館大学大学院生）

4. 発表題目：ベトナム人日本語学習者の促音知覚
ー脳波に現れる事象関連電位 P300 を指標としてー

(2) ポスター発表

7. 受 賞 者：田鎖楠奈氏（東北大学大学院生）

4. 発表題目：ある在日フィリピン人介護福祉士が利用者への想いをもとに
実践した介護

※1 大会での筆頭発表者のうち、大会若手優秀発表賞表彰規程で定める「若手」に当たる者（有効期限付き学生証の写しを本会事務局に提出した者）を選考対象といたしました。

＜連絡先＞ 公益社団法人日本語教育学会（大会担当）
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F
Email: taikai-office(アットマーク)nkg.or.jp

2025年度春季大会 大会若手優秀発表賞授賞者

大会若手優秀発表賞は、春季・秋季の各大会において発表された口頭発表・ポスター発表の発表者のうち、特に優れていると認められた若手の筆頭発表者を表彰するものです。

1. 口頭発表

(1) 授賞対象者

三浦景星氏(立命館大学大学院生)

(2) 発表題目

ベトナム人日本語学習者の促音知覚

一脳波に現れる事象関連電位 P300 を指標として一

(3) 授賞理由

本研究は、ベトナム人日本語学習者(VJL)が、促音をどのように捉えているのかについて、行動データ(正答率・反応時間)と脳の電位変化(事象関連電位)を組み合わせることで解明しようとしたものである。得られたデータの解釈から、VJLが促音なしの刺激語に促音があるように感じる傾向を指摘し、その原因として、VJLの母語の言語リズムや声調が促音の知覚に影響を与えていることを主張している。

この研究成果は、今後の音声教育にも応用が期待されるものである。また、当日の発表態度もすぐれたものであった。これらの点で、本発表は大会若手発表賞にふさわしいものであると判断した。

2. ポスター発表

(1) 授賞対象者

田鎖楠奈氏(東北大学大学院生)

(2) 発表題目

ある在日フィリピン人介護福祉士が利用者への想いをもとに実践した介護

(3) 授賞理由

本研究は、経験豊富な介護福祉士を「社会的存在」として捉え、介護人材の育成、現場の実情、人間関係、そして組織社会化などの複合的な要素を総合的に捉える必要があるという認識に基づいて行われたライフストーリー研究である。

日本の介護現場で長期に本格的に働こうとする外国人が、日本語を使って求められる資格取得以上の力とは何かという問いを踏まえ、どのような日本語教育(日本語支援)が必要なのかを考える上で、貴重な示唆が示されている点が研究視点の新規性ととも評価された。

また、発表全体が適切に進行されていたことも高評価につながった。これらの理由から本発表を大会若手発表賞にふさわしいものと判断した。

以上